Rev. BU039000

TSKgel®
疎水クロマトグラフィー用充てん剤

TSKgel® Phenyl-5PW (20)
TSKgel® Phenyl-5PW (30)
TSKgel® Ether-5PW (20)
TSKgel® Ether-5PW (30)

取扱説明書

TOSOH
東ソー株式会社

ご使用の前に

- この製品を使用する前に，必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえご理解ください．
- この取扱説明書は，いつも手元においてご使用ください．
- 製品本来の使用方法及び取扱説明書で指定した使用方法を守ってください．
- この取扱説明書の安全に関する指示に対しては，指示内容を理解のうえ必ず従ってください．
  以上の指示を厳守してください．
  指示に従わないと，けがや事故の恐れがあります．

【取扱説明書について】

- 取扱説明書の内容は，製品の性能・機能の向上により将来予告なしに変更することがあります．
- 取扱説明書の全部又は一部を無断で転載，複製することは禁止しています．
- 取扱説明書を紛失したときは，弊社営業担当者までお問合せください．
- 取扱説明書の内容に関しては万全を期していますが，万一不審な点や誤り，記載漏れに気づいたときは，お手数ですが巻末の連絡先までご連絡ください．

安全上のご注意

- ご使用の前に，この“安全上のご注意”をよくお読みのうえ正しくお使いください．
- この項目は，いずれも安全に関する内容ですので，必ず守ってください．
- “警告”“注意”の意味は次のようになっています．

⚠ 警告	回避しないと，死亡又は重傷を招く可能性がある状況を示します．
⚠ 注意	回避しないと，軽傷を負うか又は物的損害が発生する危険な状況を示します．

ご使用時

⚠ 警告

- **火気厳禁**
  - 引火性のある溶媒を使用する場合，火気の使用は厳禁です．火災，爆発の原因になります．

⚠ 注意

- **換気に注意を**
  - 引火性，毒性のある溶媒を使用する場合，十分換気をしないと火災，爆発，中毒の原因になります．
- **液漏れに注意を**
  - 溶媒などの液漏れは，感電，中毒，薬傷，火災，腐食などの原因になります．液漏れの場合は，適切な保護具を着用し，液を取り除いてください．

⚠ 注意

● 保護具の着用を

- 有機溶媒や酸などの溶離液を取扱う場合は，保護メガネ，手袋などの保護具をご使用ください．薬傷を負う恐れがあります．

● 容器の取扱いに注意を

- 保存温度及び取扱いが不適切であると，容器が破裂，破損する可能性があります．取扱いには十分注意してください．

● 適切な使用方法を

- このバルクゲルは分離，精製などに用いるもので，それ以外の目的には使用しないでください．

● 圧力に注意を

- このバルクゲルのカラムへの充てん時，又は充てん後のカラム使用時に，送液ポンプなどにより圧力を過度に加えると十分な性能が得られないことやカラムの破裂，ゲルの飛散などの可能性がありますので，規定以上の圧力にならないようご注意ください．
- 適切な保護具を着用し，十分注意して作業を行ってください．

● 分離精製物の取扱いに注意を

- 得られた分離精製物又は精製溶液を製品あるいは中間体として使用する場合は，十分にその安全性の確認を行ってご使用ください．

● 処分には適切な処置を

- 廃棄する場合は，産業廃棄物として適切な処置を行ってください．
- 不要になった容器は，溶媒が残らないように処置，洗浄し，材質別に適切に処分してください．

取扱い上のご注意（出荷溶媒に関する注意）

応急処置	吸入した場合	• 空気の新鮮な場所に移動してうがいを行い，医師の手当てを受ける．
	皮膚に付着した場合	• 水などで洗い流し医師の手当てを受ける．
	眼に入った場合	• 流水で 15 分以上洗眼する．その際は瞼を開き水が全面にゆきわたるように行う． • 医師の手当てを受ける．
	飲み込んだ場合	• 口腔を水洗し，医師の手当てを受ける．
取扱い及び保管上の注意	火気などの注意	• 火気の使用を禁じ火花の発生を防止するための防爆工具の使用及び接地などを行う．
	換気	• 許容濃度以下に保つような設備で換気する．
	身入り容器の取扱い	• 容器は破損につながる粗暴な取扱いをしない．
	身体の洗浄	• 取扱い後は顔，手，口などを水洗する．
	取扱い時の保護具	• 取扱いの際は耐油性手袋，保護メガネ及び有機ガス用保護マスク，保護衣，長靴などを着用する．
	危険有害物などの保管	• 火気，加熱などに注意して保管する． • その他のものと区分けし，漏れ，飛散，こぼれなどに注意して保管する．
	保管温度条件	• 0 ℃付近で凍結することがあるので保管温度に注意する．
廃棄上の注意	処分方法	• 廃棄する場合は認定を受けた産業廃棄物処分業者に委託する．
	一般的な留意事項など	• 処分作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う．

出荷溶媒：20 %エタノール水溶液

取扱い上のご注意（充てん剤に関する注意）

応急処置	吸入した場合	• 空気の新鮮な場所に移動してうがいを行う.
	皮膚に付着した場合	• 水などで洗い流す.
	眼に入った場合	• 流水で 15 分以上洗眼する．その際は瞼を開き水が全面にゆきわたるように行う. • 医師の手当てを受ける.
	飲み込んだ場合	• 口腔を水洗し，医師の手当てを受ける.
取扱い及び保管上の注意	火気などの注意	• 火気の使用を禁じ火花の発生を防止するための防爆工具の使用及び接地などを行う.
	換気	• 換気設備などで換気する.
	身体の洗浄	• 身体に付着した場合には，水で洗い流す.
	取扱い時の保護具	• 取扱いの際はゴム製手袋，保護メガネ及び防じんマスクを着用する.
廃棄上の注意	処分方法	• 廃棄する場合は認定を受けた産業廃棄物処分業者に委託する.
	一般的な留意事項など	• 処分作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う.

□可燃性充てん剤（ビニル化合物の共重合物）

目　次

1. はじめに …… 1
2. 操作法 …… 1
3. 保　存 …… 3
4. 注意点 …… 3

2010 年 3 月作成

1. はじめに

この製品は，分取精製用の多孔性ポリマーからなる疎水クロマトグラフィー用充てん剤です．

《製　品》

製　品　名	粒　子　径
TSKgel® Phenyl-5PW(20) TSKgel® Ether-5PW(20)	15 μm～25 μm
TSKgel® Phenyl-5PW(30) TSKgel® Ether-5PW(30)	20 μm～40 μm

2. 操作法

2-1 微粒子の除去

⑴ ゲル 500 mL を例にとると，3 L のビーカー（ゲルの 6 倍量の容積がある容器）に移します．

⑵ 蒸留水を加えて全体を 2 L（ゲルの 4 倍量）にし，かくはんして静置します．

製　品　名	静置時間（推奨）
TSKgel® Phenyl-5PW(20) TSKgel® Ether-5PW(20)	120 分以上
TSKgel® Phenyl-5PW(30) TSKgel® Ether-5PW(30)	90～120 分

⑶ デカンテーションにより上澄み液（微粒子を含む）を捨てます．

⑷ ⑵～⑶までの操作を 3 回程度くりかえします．

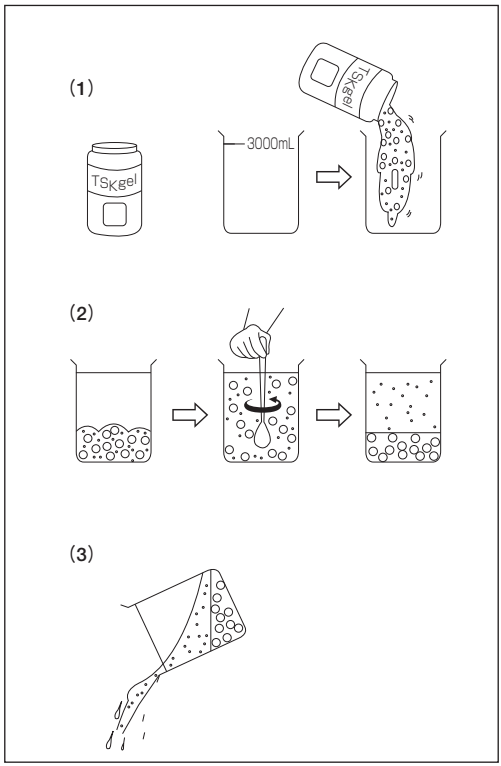

図 1　微粒子の除去

2-2　洗浄（初期洗浄）

この製品は，20％エタノール水溶液に懸だくして出荷されますので，使用に先立ってグラスフィルターの上で，ゲルの約 3 倍量の水で洗浄する必要があります．

この操作は，スラリーの調製と関連しています．

2-3　スラリーの調製，カラム充てん

デカンテーションで微粒子を除去したゲルを，充てん溶媒で洗浄します．充てん溶媒には使用する溶出液のうち最も塩濃度の高い溶媒を用いてください．洗浄後，スラリー濃度が 30％～ 50％（推奨）になるように充てん溶媒を加えてスラリー化し，カラムに充てんします．

最適な充てんは,加圧（最大 2 MPa（推奨））下で行います．この場合はポンプ（ダイナミックアキシャルポンプなど）とリザーバーが必要です．

使用流速の約2倍の流速で充てんします．簡便法である自然落差充てん法は，従来からよく使用されていますが，水圧を大きくする方が性能の良いカラムが得られます．

2-4　平衡化，吸着

カラムの平衡化は，緩衝液に中性塩を加えた溶液で行います．塩としては$(NH_4)_2SO_4$，NaClなどがよく使われます．

溶液のイオン強度を高くすると，ゲルとタンパク質の疎水的相互作用が増加し，吸着されやすくなります．

2-5　溶出

通常は塩濃度を下げて，疎水結合の弱い順に溶出させます．吸着が強固で溶出しにくい場合は，

(a)　アルコールなど有機溶媒を加える．

(b)　界面活性剤を加える．

(c)　pHを変化させる．

を試みてください．

2-6　洗浄，再生

純水で洗浄すれば，タンパク質は溶出し，そのまま再利用することができます．しかし，疎水性の強いタンパク質，油脂，界面活性剤などが純水では溶出しないことがあります．

その場合，以下の方法を試みてください．

(a)　アルカリ又は酸の0.1 mol/L ～ 0.5 mol/L溶液で洗う．

(b)　アルコール，アセトンなどの有機溶媒で洗う．

洗浄は，カラム中又はゲルを取り出してバッチ洗浄でも結構です．

3.　保存

ゲルは20％エタノール水溶液中で，4℃ ～ 35℃で保存してください．

4.　注意点

4-1　微粒子の除去

微粒子の除去が完全でない場合には，白色の微粒子が最初フィルター部を通過し漏出してきますので，**2-1**の方法で使用前に浮遊微粒子を除去してください．

4-2　流速の低下あるいは圧力が上昇した場合

フィルター部の目づまりによることが大半を占めます．もし非常に流速が低下したら，ゲルをとり出し微粒子を除き，フィルター部は約 10 分間超音波洗浄してから充てんしてください．

4-3　吸着しない場合には

(a)　塩をさらに加えるなどしてイオン強度を高めてください．

(b)　pH を変化させて，タンパク質の等電点の近くにしてください．

4-4　吸引法による長いカラムでの充てん禁止

粒子径が細かいため，上端部と下端部に充てん密度の差が生じて分離が乱れます．したがって，長さが 10 cm 以上のカラムでは吸引による充てんではなく，加圧による充てんを行ってください．

以下の名称は東ソー株式会社の登録商標です.
HLC, TSK-GEL, TSKgel, TSKgel SuperMultipore,
BioAssist, Enantio, PStQuick,
エンバイロパック/Enviropak, トヨパール/TOYOPEARL, ToyoScreen,
TOYOPEARL GigaCap,トヨパールメガキャップ/TOYOPEARL MegaCap,
トヨパールパック/TOYOPEARLPAK, TOYOPAK

東ソー株式会社　バイオサイエンス事業部

東京本社　営業部　☎(03)5427−5180　〒105-8623 東京都港区芝3−8−2
大阪支店　バイオサイエンスG　☎(06)6209−1948　〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4−4−9
名古屋支店　バイオサイエンスG　☎(052)211−5730　〒460-0003 名古屋市中区錦1−17−13
カスタマーサポートセンター　☎(0120)17−1200　〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743−1

Printed in Japan

T1004-500